帝王切開術を受けられる　　様へ　　入院診療計画書

NO．1

病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。
入院期間については現時点で予測されるものです。
ご不明な点は遠慮なくスタッフへお尋ねください。
入院の際は、この用紙をお持ちください。
入院当日は、午前10時ころに受付①で手続きをされてから、西７階デイルームでお待ち下さい

主治医＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　患者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

受け持ち看護師＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　家族等氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

（続柄　　）

	入院　／　（　）～手術前日　／　（　）	手術当日　／　（　） 術前	手術当日　／　（　） 術後	手術１日目　／　（　）
達成目標	帝王切開に向けて心と体の準備が整うこと 手術について心配なことや不明な点を医師や看護スタッフに伝えられること		痛みや吐き気などの苦痛を伝えられること	子宮が硬式テニスボール位の硬さであること トイレに歩けること ３８℃以上の発熱がないこと
治療・処置	・お薬を飲んでいる方は、他院の薬も含めて全て持参してください その際お薬手帳があれば一緒にお持ち下さい。 ・手術に必要な物品の準備をします。シャワー前に除毛をします ・シャワー後に血栓予防のストッキングを履きます。 ・病衣に着替え、リストバンドをします。	・9時頃に膣の洗浄をします。 ・点滴を始めます。 ・朝処置があります。 ・手術衣に着替えます	・翌日まで点滴が続きます。 ・痛みや吐き気があるときは注射薬または坐薬を使用します。	・午後まで点滴があります。終了したら針を抜きます。
検査	・赤ちゃんの心拍とお腹の張りをみる検査をします。 ・必要に応じて血液検査があります。	・赤ちゃんの心拍とお腹の張りをみる検査を行います。	・心電図モニターと血液中の酸素の値を見る機械を1日目の朝までつけます。	
食事	・手術前日は病院食以外は食べられません。午後9時以降は何も食べられません。 ・午後９時以降は水、お茶、ｽﾎﾟｰﾂﾄﾞﾘﾝｸのみ500ml以内で朝9時まで飲むことができます。	・午前９時以降なにも飲めません。 ・何も食べられません。	・食べたり飲んだりできません。 ・寝たままうがいができます。	・朝から５分粥食がはじまります。 ・昼と夕は全粥食です。
排泄	・便秘の方はご相談ください。	・手術室で麻酔後に尿の管を入れます。	・尿の管が入っています。	・歩行ができたら、尿の管を抜きます。初回のトイレは看護スタッフが付き添います。
安静度	・院内でお過ごしください。	・院内でお過ごしください。 ・車椅子で手術室へ行きます。	・手術の２時間後、寝返りをうてるようになります。 （初めは看護スタッフが手伝います） ・翌朝まではﾍﾞｯﾄﾞ上でお過ごしください。	・ベッドに起き上がり、徐々に動く範囲を広げます。 歩く練習を看護スタッフと一緒に行ないます。
清潔	・午後４時ころまでにシャワーを浴びましょう ・入院中はマニキュア、化粧はしないでください。		・看護スタッフがナプキンの交換をします。	・温かいタオルで体を拭き、着替えをします。
説明	・主治医より手術の説明があり、手術同意書を記入していただきます （ご家族も同席をお願いします） ・看護スタッフから入院中の生活について説明があります。 ・手術後のうがいの方法や体の動かし方を練習します。	・髪の長い方はゴムでまとめましょう ・金属類（時計、指輪）、コンタクトレンズ、義歯ははずしておきます。 ・眼鏡はケースに入れて手術室に持ち込めます。	・手術中、ご家族の方は手術室前の椅子でお待ちください。 ・母児の体調をみて、病室で赤ちゃんとの面会や授乳を行うことができます。 ・夜間も母乳分泌を促すため授乳を行うことができます。（体調にあわせて計画していきます。）	
お母様の体の状態			・悪露（産後の子宮からの出血）が出ます。レバーのような血の塊が出た場合は、看護スタッフにお見せください。 ・後陣痛（子宮が縮む時の痛み）を感じます。	
赤ちゃんの状態			・新生児室で過ごします。	・お臍を止めているクリップをはずします。 ・出血予防のビタミン　K2シロップを飲みます。 ・毎日黄疸の検査をし、必要時血液検査をします。
その他	・アレルギー調査票、母子手帳を看護スタッフにお渡しください。 ・売店でマイクロポアスキントーンテープを購入してください。 ・ご家族は手術開始予定時間の2時間前までにおいでください。（入院日の夕方に看護スタッフが時間をお知らせします。） ・ご家族は手術後２時間ほどは状態が安定するまで付き添いをお願いします。			

新潟県立中央病院　2010．3月作成
2017．１１月変更

	術後2日目　／　（　　）	術後3日目　／　（　　）	術後4日目　／　（　　）	術後5日目　／　（　　）	術後6日目　／　（　　）	術後7日目　／　（　　）	術後8日目　／　（　　）	退院後の生活
達成目標	痛みをコントロールしながら育児に取り組むことができること				退院後の心配なことを言葉で表すことができること		・子宮の戻りがよいこと ・傷の治りがよいこと	
治療・処置	・傷の痛みや後陣痛がつよいときは坐薬や飲み薬でコントロールできます。ご相談下さい。	・シャワー前に貼ってたいた絆創膏をはがして直接お湯を流してください。 ・血栓予防のストッキングはシャワー前に脱いでよいです	→	→	→	・抜鉤（抜糸）をします。呼ばれたら、マイクロポアスキントーンテープを持って処置室にお越しください。	・退院診察（内診）をします。	**・母の１ヶ月検診** 入院中に必ず予約をしてください。詳しくは退院指導で説明します。 **・赤ちゃんの１ヶ月健診** 入院中に必ず予約してください。詳しくは授乳、同室指導で説明があります。 **・母乳外来** 月・水・木午後2：00・3：00・4：00から45分間、完全予約制で産婦人科外来で行っています。入院中に予約できます。退院後、予約する場合は平日の日中に西7病棟に電話してください。 **・お腹の傷の手当て** 抜鉤した後は、マイクロポアスキントーンテープを貼っておきます。テープがはがれたところのみ貼り替えてください。２～３ヶ月間貼っておくと、傷が目立たなくなくなっていきます。
検査		・朝起きたら体重を測ります。				・尿検査があります。 ・血液検査があります。		
食事	・朝より産婦食です。	→	→	→	→	→	→	
排泄		・便秘の時はご相談ください。				・夕食はお祝い膳です。		
安静度	・院内でお過ごし下さい。 ・赤ちゃんが眠っている時は、体の疲れをとるためにも一緒に休みましょう。							
清潔	・温かいタオルで体を拭き、着替えをします。	・シャワー浴ができます。	→	→	→	→	→	
説明	・授乳室で育児についての説明があります。 ・赤ちゃんがずっとそばにいることで、最初は疲れるかも知れません。お困りの時はいつでも看護スタッフをお呼びください。		**・沐浴指導**：赤ちゃんのお風呂の入れ方の説明があります。 母親教室のテキストをお持ちください。 （　　／　　）　１１時に授乳室で行います。 **・退院指導**：退院後の生活について助産師から説明があります。 母親教室のテキストをお持ちください （　　／　　）　１１時に授乳室で行います。 **・調乳指導**：ミルクの説明があります。 （　　／　　）　１６時に産科指導コーナーで行います。 赤ちゃんは新生児室に預けてから聞きに行かれてください。			・出産一時金受領委任の申請手続きがお済の方は入院費用の会計はありません。ただし、赤ちゃんの小児科の診察、検査等の費用と、一時金を超えた額がある場合は差額分の支払いがあります。 ・入院費は30～45万円です。（保険適応は約10日間）	・退院診療計画書について説明を致します。同意していただきましたら、サインをお願いします。	
お母様の体の状態	・おっぱいが張ってくる時期です。 （個人差があります）		・悪露は、だんだん量が少なくなり、色も薄くなっていきます。					
赤ちゃんの状態		・肌の色や白目の部分が黄色く見えます。生理的黄疸です。	・お臍がグラグラして取れることがあります。取れたら看護スタッフに伝えてください。	・ビタミンK_2シロップを飲みます。 ・小児科医師の診察、黄疸の血液検査・先天性代謝異常検査があります。				
その他							・赤ちゃんの処置があるため、午後の退院になります。 ・お預かりした母子手帳、診察券、退院療養計画書、退院証明書をお渡しします。	

新潟県立中央病院　2010年3月作成
2017年１１月変更